

国道41号高山地区電線共同溝PFI事業

見積参考資料

令和5年11月

国土交通省中部地方整備局

この「見積参考資料」は、本事業の現場条件等を考慮し標準的な事業内容等を参考に示した資料であり、契約図書ではない。従って「見積参考資料」は事業契約上の拘束力を生じるものではなく、事業者は、施工方法、地質条件等を十分考慮して、設計、工事、維持管理、調整マネジメント等、事業目的を完成・維持するための一切の手段について事業者の責任において定めるものとする。

資料一覧

1. 見積参考資料(工事業務)
2. 見積参考歩掛・資材単価(工事業務)
3. 見積参考資料(詳細設計業務、調整マネジメント業務(設計段階)、調整マネジメント業務(工事段階)、工事監理業務、調整マネジメント業務(維持管理段階))
4. 見積参考資料(点検業務(定期点検、巡回)、補修業務)
5. 見積参考歩掛(詳細設計業務、調整マネジメント業務(設計段階)、調整マネジメント業務(工事段階)、工事監理業務、調整マネジメント業務(維持管理段階)、点検業務(定期点検)、点検業務(巡回)、補修業務)
6. 見積参考資料(その他施設費(割賦手数料))

見 積 参 考 資 料

工 事 名 国道41号高山地区電線共同溝PFI事業 工事業務

この「見積参考資料」は、入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積もりに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件及び地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について、受注者の責任において定めるものとする。

なお、見積参考資料の内容に関する事項は質問することが出来ない。

また、「見積参考資料」の有効期限は、本工事の入札（見積）日までとする。

国土交通省 中部地方整備局
高山国道事務所 管理第二課

見積参考資料（積算条件）

工事名	国道41号高山地区電線共同溝PFI事業 工事業務（当初）		主たる工種	C・C・BOX工事
間 接 費 名 称	積 算 条 件			
	補 正 項 目	条 件		
共通仮設費（率計上）	施工地域補正 除雪工事補正	市街地（D I D補正）（1）－1 補正無		
現場環境改善費（率計上）	市街地補正	市街地		
現場管理費	施工地域補正 施工時期補正 熱中症補正 緊急工事補正 砂防・地滑り補正	市街地（D I D補正）（1）－1 補正する 補正しない 補正しない 補正しない		
一般管理費等	財団法人等による補正 前払金割合による補正 契約保証に係る補正	補正しない 35%を超えるもの・補正しない 発注者が金銭的保証を必要とする場合		
その他	I C T施工補正 週休2日の補正	補正しない 4週8休以上		

見積参考資料

工事名		国道 4 1 号高山地区電線共同溝PFI事業 工事業務				(当 初)	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
							名称	単位	数量	
電線共同溝			式		1					
仮設工			式		1					
土留・仮締切工			式		1					
軽量鋼矢板（電線共同溝）		⑦-Ⅱ(管路部) L SP-1型	m		2,362		< 100 m当り > 軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板賃料(管路部⑦) LSP-1型 t=4mm L=2.0m (修理費・損耗費あり) 腹起し賃料(管路部⑦) 角パイプ 100×100 t=3.2mm (基本料あり) 切梁賃料(管路部⑦) パイプサポート 0.9m～1.2m (基本料あり)	m t m 本	200 16.64 200 67	
軽量鋼矢板（電線共同溝）		⑦-Ⅱ(特殊部) L SP-1型	m		101		< 100 m当り > 軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板賃料(特殊部⑦) LSP-1型 t=4mm L=2.0m (修理費・損耗費あり) 腹起し賃料(特殊部⑦) 角パイプ 100×100 t=3.2mm (基本料あり) 切梁賃料(特殊部⑦) パイプサポート 0.9～1.2m (基本料あり)	m t m 本	200 16.64 200 67	

見積参考資料

工事名	国道 4 1 号高山地区電線共同溝PFI事業 工事業務					(当 初)	工種区分	C・C・BOX工事								
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項										
						名称	単位	数量								
軽量鋼矢板（電線共同溝）	⑩-Ⅲ LSP-3A型	m				< 100 m当り > 軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板賃料(特殊部⑩) LSP-3A型 t=4mm L=2.5m (修理費・損耗費あり) 腹起し賃料(特殊部⑩) 角パイプ 100×100 t=3.2mm (基本料あり) 切梁賃料(特殊部⑩) パイプ束 1.2～2.1m (基本料あり)	m t m 本	200 21.34 400 160								
軽量鋼矢板（電線共同溝）	⑪-Ⅲ LSP-3A型					m				< 100 m当り > 軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板賃料(特殊部⑪) LSP-3A型 t=4mm L=3.0m (修理費・損耗費あり) 腹起し賃料(特殊部⑪) 角パイプ 100×100 t=3.2mm (基本料あり) 切梁賃料(特殊部⑪) パイプ束 2.1～3.2m (基本料あり)	m t m 本	200 25.6 400 200				
交通管理工										式	1					
交通誘導警備員	A 夜間勤務									人日	2,900			< 1 人日当り > 交通誘導警備員A	人日	1
交通誘導警備員	B 夜間勤務									人日	17,400			< 1 人日当り > 交通誘導警備員B	人日	1
舗装版撤去工		式		1												
舗装版破碎工		式		1												

見積参考資料

工事名	国道 4 1 号高山地区電線共同溝PFI事業 工事業務					(当 初)	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
舗装版切断	As舗装版 t=40mm	m		5,450		< 1 m当り> 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版; アスファルト舗装版厚=15cm以下; 費用の内訳=全ての費用;	m	1		
舗装版破碎積込	As舗装版 t=40mm	m2		3,020		< 1 m2当り> 舗装版破碎積込	m 2	1		
殻運搬	アスファルト殻	m3		121		< 1 m3当り> 運搬 (電線共同溝) 積載区分=アスファルト塊; DID区間の有無=有り; 運搬距離(km) (DID区間有)=6.0km以下;	m 3	1		
殻処分	アスファルト殻	m3		121		< 1 m3当り> 処分費 (m 3)	m 3	1		
開削土工		式		1						
掘削工		式		1						
開削掘削	土砂	m3		4,300		< 1 m3当り> 床掘り	m 3	1		
埋戻し工		式		1						
埋戻し・締固め	土砂	m3		1,300		< 1 m3当り> 埋戻し・締固め 土質=土砂;	m 3	1		
埋戻し・締固め	中埋砂	m3		1,300		< 1 m3当り> 埋戻し・締固め 土質=中埋砂;	m 3	1		

見積参考資料

工事名	国道 4 1 号高山地区電線共同溝PFI事業 工事業務					(当 初)	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
残土処理工		式		1						
土砂等運搬		m3		2,760		< 1 m3当り> 運搬（電線共同溝） 積載区分=土砂；DID区間の有無=有り； 運搬距離(km) (DID区間有)=22.5km以下；	m 3	1		
電線共同溝工		式		1						
管路工(管路部)		式		1						
埋設管路	角型FEP φ 50	m		4,659		管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置； ロングベルマウス φ 50 L=270 オスアダプター φ 50	m 個 個	4,659 236 118		
埋設管路	角型FEP φ 130	m		9,328		管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置； ロングベルマウス φ 130 L=250 オスアダプター(継手含む) φ 130	m 個 個	9,328 472 236		
埋設管路 (共用FA管)	共用FA管VP φ 150	m		2,335		管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=FA管設置； ダクトスリーブ VP φ 150 ヤトリ継手 VP φ 150 管枕 VP φ 150	m 個 個 個	2,335 118 59 1,147		

見積参考資料

工事名	国道 4 1 号高山地区電線共同溝PFI事業 工事業務					(当 初)	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
埋設管路 (ボディ管)	ボディ管 φ 250 さ や管含む 11条:S U φ 50 9条+SU φ 3 0 2条	m		2,362		管路材設置	m	2,362		
						作業区分=埋設部；設置区分=ボディ管(φ 250mm)設置 (さや管含む)；さや管の条数=標準:11条(9条(φ 50) +2条(φ 30))；				
						ボディ管 VP管 直管 φ 250			m	2,362
						管枕 φ 250			個	2,362
						さや管 SU管 直管 φ 50			m	21,254
さや管 SU管 直管 φ 30	m	4,723								
基礎材	RC-40 t=100	m2		1,830		< 1 m2当り>	m 2	1		
	基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；砕石の種類=ク ラッシュラン 40～0；費用の内訳=全ての費用；									
埋設表示シート	300mm×50mm 2倍	m		4,688		< 100 m当り>	m	100		
	埋設表示シート 300mm×50m 2倍									
プレキャストボックス工(特殊部)		式		1						

見積参考資料

工事名	国道 4 1 号高山地区電線共同溝PFI事業 工事業務					(当 初)	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
プレキャストボックス (接続Ⅰ型)	1200×1500×3000	箇所		24		< 10 箇所当り>				
						プレキャストボックスブロック設置	個	20		
						ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下; ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外; ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.22 無;				
						プレキャストボックスブロック設置	個	20		
						ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外; ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.22 無;				
						プレキャストボックス(接続Ⅰ型) A-M 1200×1500×1500	個	20		
						支持受金物 Aタイプ	本	40		
						支持受金物 AJタイプ	本	20		
						排水ピット	箇所	20		
						嵩上げブロック H=100(S) ステップ付	個	20		
継壁 1600×1900×150	枚	20								
モルタル練	m 3	1.6								
セメント種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用;										
コンクリート	m 3	6.3								
構造物種別=無筋・鉄筋構造物; 打設工法=パッカー(クレーン機能付)打設; コンクリート規格=18-8-40(高炉); 養生工の種類=一般養生; 費用の内訳=全ての費用;										
型枠	m 2	11								
型枠の種類=一般型枠; 構造物の種類=均しコンクリート;										

見積参考資料

工事名		国道 4 1 号高山地区電線共同溝PFI事業 工事業務					(当 初)	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
							名称	単位	数量		
プレキャストボックス (本線横断 I 型)		1200×1900×4500					< 10 箇所当り >				
							プレキャストボックスブロック設置				
							ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下; ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外; ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.22 無;				
							プレキャストボックスブロック設置				
							ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外; ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.22 無;				
							プレキャストボックスブロック設置				
							ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下; ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外; ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.22 無;				
							プレキャストボックス(本線横断 I 型) BC 1200×1900×1500(マンホール無)				
							プレキャストボックス(本線横断 I 型) BC-M 1200×1900×1500(マンホール付)				
							プレキャストボックス(本線横断 I 型) B-M 1200×1900×1500(マンホール付)				
							取付ボックス 800×700×500				
							支持受金物 E-B1タイプ				
							支持受金物 E-B3タイプ				
							支持受金物 T-Bタイプ				
							支持受金物 T-BJタイプ				
							支持受金物 T-Kタイプ				
							排水ピット				
							嵩上げブロック H=100(S) ステップ付				
							継壁 1640×2300×150				
							取付ボックス用継壁 1100×1000×150				
							モルタル練				
							セメント種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用;				
							コンクリート				

見積参考資料

工事名	国道 4 1 号高山地区電線共同溝PFI事業 工事業務					(当 初)	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
		箇所		11		構造物種別=無筋・鉄筋構造物；打設工法=パッキン(クレーン機能付)打設；コンクリート規格=18-8-40(高炉)；養生工の種類=一般養生；費用の内訳=全ての費用； 型枠 型枠の種類=一般型枠；構造物の種類=均しコンクリート；	m 2	19		
プレキャストボックス (地上機器部Ⅱ型)	(開閉器)900×120 0×2300	箇所				＜ 10 箇所当り＞ プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフレインクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレインクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.22 無； モルタル練 セメント種類=高炉；費用の内訳=全ての費用； コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物；打設工法=パッキン(クレーン機能付)打設；コンクリート規格=18-8-40(高炉)；養生工の種類=一般養生；費用の内訳=全ての費用； 型枠 型枠の種類=一般型枠；構造物の種類=均しコンクリート；	個 m 3 m 3 m 2	10 0. 9 3. 9 8. 4		
プレキャストボックス (地上機器部Ⅱ型)	(変圧器)900×120 0×3400	箇所				＜ 10 箇所当り＞ プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフレインクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレインクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.22 無； モルタル練 セメント種類=高炉；費用の内訳=全ての費用； コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物；打設工法=パッキン(クレーン機能付)打設；コンクリート規格=18-8-40(高炉)；養生工の種類=一般養生；費用の内訳=全ての費用； 型枠 型枠の種類=一般型枠；構造物の種類=均しコンクリート；	個 m 3 m 3 m 2	10 1. 3 5. 5 11		

見積参考資料

工事名	国道 4 1 号高山地区電線共同溝PFI事業 工事業務					(当 初)	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
プレキャストボックス (地上機器部Ⅱ型)	(変圧器+開閉器)900×1200×5700	箇所		3		< 10 箇所当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下; ラフレックレン賃料補正係数=標準以外; ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.22 無; モルタル練 セメント種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用; コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物; 打設工法=パッド工(クレーン機能付)打設; コンクリート規格=18-8-40(高炉); 養生工の種類=一般養生; 費用の内訳=全ての費用; 型枠 型枠の種類=一般型枠; 構造物の種類=均しコンクリート;	個	10		
						m 3	2.2			
						m 3	8.8			
						m 2	15			
プレキャストボックス (電力接続部Ⅱ型)	900×1200×2000	箇所		1		< 10 箇所当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフレックレン賃料補正係数=標準以外; ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.22 無; モルタル練 セメント種類=高炉; 費用の内訳=全ての費用; コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物; 打設工法=パッド工(クレーン機能付)打設; コンクリート規格=18-8-40(高炉); 養生工の種類=一般養生; 費用の内訳=全ての費用; 型枠 型枠の種類=一般型枠; 構造物の種類=均しコンクリート;	個	10		
						m 3	0.8			
						m 3	3.5			
						m 2	7.8			
蓋	特殊部Ⅰ,Ⅱ型用 φ810歩道用	組		71		< 10 組当り > 蓋設置 蓋1組当り質量=200kg以下; 蓋 (材料費)	組	10		
						組	10			

見積参考資料

工事名	国道 4 1 号高山地区電線共同溝PFI事業 工事業務					(当 初)	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
蓋	地上機器部 710 ×500(開閉器用)	組		9		< 10 組当り > 蓋設置	組	10		
						蓋1組当り質量=200kg以下; 蓋 (材料費)	組	10		
蓋	地上機器部 710 ×1000(変圧器用)	組		18		< 10 組当り > 蓋設置	組	10		
						蓋1組当り質量=200kg以下; 蓋 (材料費)	組	10		
銘板	アクリル板 250×120 t=3	枚		120		< 1 枚当り > 銘板設置 アクリル板 L250×W120×t3	枚	1		
						銘板材料費 アクリル板 L250×W120×t3	枚	1		
舗装工		式		1						
アスファルト舗装工		式		1						
下層路盤(歩道部)	再生クワッチャン RC-4 0 仕上り厚 100m m	m2		2,900		< 1 m2当り > 下層路盤 (歩道部) 全仕上り厚(実数入力)=100 mm; 施工区分=1層施工; 材料=再生クワッチャン RC-40; 費用の内訳=全ての費用 ;	m 2	1		
表層(歩道部)	各種(2.10以上2.2 0t/m3未満) 再生 密粒度アスコン(13) 舗装厚 40mm 1. 4m未満 (1層当り 平均仕上り厚5	m2		2,900		< 1 m2当り > 表層 (歩道部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=40 m m; 材料=各種(2.10以上2.20t/m3未満); 瀝青材料種 類=ブ ライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1		
直接工事費		式		1						

見積参考資料

工事名	国道 4 1 号高山地区電線共同溝PFI事業 工事業務					(当 初)	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
共通仮設費		式		1						
共通仮設費		式		1						
運搬費		式		1						
仮設材運搬費		式		1		仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬 発注機関区分=関東・中部・近畿；片道運搬距離(実数 入力)=1.5 km；製品長区分=12m以内；運搬割増率= 各種(実数入力)；運搬割増率(実数入力)=0 無；そ の他の諸料金の有無=無；	t	11.5		
						仮設材等の積込み、取卸し費 作業区分=積込み, 取卸し(片道分)；	t	11.5		
技術管理費		式		1						
道路台帳作成費		式		1		道路台帳作成費	式	1		
現場環境改善費（率計上）		式		1		市街地補正=市街地				
共通仮設費（率計上）		式		1		施工地域補正=市街地（D I D補正）（1）－1； 除雪工補正=補正無；ICT施工補正=しない；週休 2 日の補正=4 週 8 休以上				
純工事費		式		1						

見積参考資料

工事名		国道 4 1 号高山地区電線共同溝PFI事業 工事業務				(当 初)		工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
							名称	単位	数量		
現場管理費			式		1		施工地域補正=市街地（D I D補正）（1）－1； 積雪寒冷地域区分=4級地；緊急工事補正=しない； 砂防・地滑り工事補正=しない；ICT施工補正=しない； 週休2日の補正=4週8休以上				
工事原価			式		1						
一般管理費等			式		1						
工事価格			式		1						
消費税相当額			式		1						
工事費計			式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。				

見積参考資料（管理費区分一覧表）

凡 例	管理費区分1 共通仮設費のみ非対象		管理費区分2 工場管理費・一般管理費の対象		管理費区分5 一般管理費等対象		管理費区分7 間接労務費対象労務費		
	管理費区分9 率計算の非対象		管理費区分T 処分費等の対象にする						
○：該当する管理費区分が含まれている									
工事名		国道4 1号高山地区電線共同溝PFI事業 工事業務				(当 初)	事業区分	共同溝・電線共同溝	
							工事区分	電線共同溝	
細別名称		規格	単位	数量	管理費区分 1 管理費区分 T	管理費区分 2	管理費区分 5	管理費区分 7	管理費区分 9
殻処分		アスファルト殻	m3	121	○				

国道41号高山地区電線共同溝PFI事業
工事業務 見積参考資料

細別	追加事項	備考
所有権移転業務	・工事費に含むことを想定する。	
既存支障施設移設・ 解体撤去・復旧	・当初は計上せず変更対応。	
BIM/CIM活用	・当初は計上せず変更対応。	

見積参考歩掛(工事業務)

銘板 アクリル板 250×120 t=3

1枚当り単価表

名称	規格	単位	数量	適用
銘板設置	アクリル板 L250×W120×t3	枚	1	(単-2号)

(単-2号)銘板設置 アクリル板 L250×W120×t3

100枚当り

名称	規格	単位	数量	適用
特殊作業員		人	1.000	
普通作業員		人	1.000	
諸雑費(率+まるめ)	労務費の4%	式	1.000	
日当たり施工量 : 100枚/日				
諸雑費費用内訳 : 諸雑費は、削孔器具の費用等であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。				
備考 : -				

見積参考資材単価(工事業務)

品 名	規 格	単位	単価	単価適用 地域	備考
ロングベルマウス	250mm φ130	個	2,280	管内統一	
継手	オスアダプター	個	3,860	管内統一	φ130 継手(L=40mm)+オスアダプター(L=120mm)
ロングベルマウス	270mm φ50	個	1,190	管内統一	
継手	オス-オスアダプター	個	744	管内統一	φ50 L=157mm
ヤリトリ継手	VP φ150用	個	11,400	管内統一	
プレキャストボックス(接続Ⅰ型)	A-M(マンホール付)1200×1500×1500	個	544,000	岐阜県	コンクリート製 参考質量4,150kg/ 個 鉄蓋・端版ブロック含まず 現場車上渡し
支持受金具	Aタイプ L=1391	本	12,800	管内統一	
支持受金具	AJタイプ L=1391	本	14,800	管内統一	
嵩上げブロック	H=100(S) ステップ付	個	26,600	岐阜県	コンクリート製φ810用 参考質量110kg/ 個 現場車上渡し
継壁(接続Ⅰ型)	1600×1900×150シール材充填含む	枚	178,000	岐阜県	コンクリート製 現場車上渡し
プレキャストボックス(本線横断Ⅰ型)	BC(マンホール無)1200×1900×1500	個	597,000	岐阜県	コンクリート製 参考質量5,240kg/ 個 端版ブロック含まず 現場車上渡し
プレキャストボックス(本線横断Ⅰ型)	BC-M(マンホール付)1200×1900×1500	個	637,000	岐阜県	コンクリート製 参考質量4,980kg/ 個 鉄蓋・端版ブロック含まず 現場車上渡し

見積参考資材単価(工事業務)

品 名	規 格	単位	単価	単価適用 地域	備考
プレキャストボックス(本線横断 Ⅰ型)	B-M(マンホール付)1200×1900× 1500	個	601,000	岐阜県	コンクリート製 参考質量5,160kg/ 個 鉄蓋・端版ブロッ ク含まず 現場車上渡し
取付ボックス	800×700×500	個	84,700	岐阜県	コンクリート製 参考質量690kg/ 個 現場車上渡し
支持受金具	E-B1タイプ	本	19,600	管内統一	
支持受金具	E-B3タイプ	本	10,200	管内統一	
支持受金具	T-Bタイプ	本	15,500	管内統一	
支持受金具	T-BJタイプ	本	17,800	管内統一	
支持受金具	T-Kタイプ	本	10,200	管内統一	
継壁(本線横断Ⅰ型)	1640×2300×150ソール材充填含 む	枚	229,000	岐阜県	コンクリート製 現場車上渡し
取付ボックス用継壁(本線横断Ⅰ 型)	1100×1000×150	枚	117,000	岐阜県	コンクリート製 現場車上渡し
鋳鉄蓋	φ810 歩道	組	364,000	管内統一	現場車上渡し
プレキャストボックス(地上機器 部Ⅱ型)	開閉器900×1200×2300	個	567,000	岐阜県	コンクリート製 参考質量4,200kg/ 個 端版ブロック含ま ず 現場車上渡し
プレキャストボックス(地上機器 部Ⅱ型)	変圧器900×1200×3400	個	786,000	岐阜県	コンクリート製 参考質量6,020kg/ 個 端版ブロック含ま ず 現場車上渡し

見積参考資材単価(工事業務)

品 名	規 格	単位	単価	単価適用 地域	備考
プレキャストボックス(地上機器 部Ⅱ型)	変圧器+開閉器900×1200× 5700	個	1,350,000	岐阜県	コンクリート製 参考質量 10,220kg/個 端版ブロック含ま ず 現場車上渡し
铸铁蓋	710×500 開閉器用	組	270,000	管内統一	現場車上渡し
铸铁蓋	710×1000 変圧器用	組	407,000	管内統一	現場車上渡し
プレキャストボックス(電力接続 部Ⅱ型)	900×1200×2000	個	545,000	岐阜県	コンクリート製 参考質量3,670kg/ 個 端版ブロック含ま ず 現場車上渡し
銘板	アクリル版 白色 3mm	枚	13,000	管内統一	

国道41号高山地区電線共同溝PFI事業
詳細設計業務 見積参考資料

細別	追加事項	備考
歩道詳細設計業務	・【別紙1】による	
電線共同溝詳細設計(予備設計有)	・設計延長 3600m ・市街地以外等の延長 2240m ・予備設計成果 有 ・各部設計 行う ・応力計算ケース数(管路部) 1ケース ・応力計算ケース数(特殊部) 1ケース ・応力計算ケース数(地上機器部) 1ケース ・応力計算ケース数(仮設構造物) 1ケース ・箇所数 1箇所	
電線共同溝詳細設計(予備設計無)	・設計延長 1900m ・市街地以外等の延長 970m ・予備設計成果 無 ・各部設計 行う ・応力計算ケース数(管路部) 1ケース ・応力計算ケース数(特殊部) 1ケース ・応力計算ケース数(地上機器部) 1ケース ・応力計算ケース数(仮設構造物) 1ケース ・箇所数 1箇所	
打合せ	・業務着手時1回、中間3回、成果物納入時1回 合計5回	
関係機関打合せ協議	・3機関	
合同現地踏査	・1回	
照査技術者による報告	・3回	

国道41号高山地区電線共同溝PFI事業
詳細設計業務 見積参考資料

細別	追加事項	備考
公開用成果品の作成	・1業務	
旅費	・直接人件費の0.63%	
電子成果品作成	・詳細設計を計上	
その他	・事前調査業務における、試掘及び埋設物探査とBIM/CIM活用業務は、当初計上せず変更対応	

国道41号高山地区電線共同溝PFI事業
調整マネジメント業務(設計段階) 見積参考資料

細別	追加事項	備考
調整マネジメント 業務(設計段階)	・【別紙2】による	
打合せ	・【別紙2】による ・3回/年×2年 …… 計6回	
電子成果品作成	・その他設計業務を計上	
公開用成果品	・【別紙2】による ・1回/2年 …… 計1回	

国道41号高山地区電線共同溝PFI事業
調整マネジメント業務(工事段階) 見積参考資料

細別	追加事項	備考
調整マネジメント 業務(工事段階)	・【別紙3】による	
打合せ	・【別紙3】による ・3回/年×9年 …… 計27回	
電子成果品作成	・その他設計業務を計上	
公開用成果品	・【別紙3】による ・1回/9年 …… 計1回	

国道41号高山地区電線共同溝PFI事業
工事監理業務 見積参考資料

細別	追加事項	備考
工事監理業務	・【別紙4】による	
打合せ	・【別紙4】による ・3回/年×9年 …… 計27回	
公開用成果品	・【別紙4】による ・1回/9年 …… 計1回	
電子成果品作成	・その他設計業務を計上	

国道41号高山地区電線共同溝PFI事業
調整マネジメント業務(維持管理段階) 見積参考資料

細別	追加事項	備考
調整マネジメント 業務(維持管理段階)	・【別紙5】による	
打合せ	・【別紙5】による ・3回/年×2年 … 計6回	
電子成果品作成	・その他設計業務を計上	
公開用成果品	・【別紙5】による ・1回/2年 … 計1回	

国道41号高山地区電線共同溝PFI事業
点検業務(定期点検) 見積参考資料

細別	追加事項	備考
道路施設定期点検	・【別紙6】による	
打合せ	・【別紙6】による ・5年毎による点検で3回あり、 3回/年×3回 … 計9回	
公開用成果品	・【別紙6】による ・5年毎による点検で3回あり、 1回/年×3回 … 計3回	
電子成果品作成	・その他設計業務を計上	

見 積 参 考 資 料

工 事 名 国道41号高山地区電線共同溝PFI事業 点検業務（巡回）

この「見積参考資料」は、入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積もりに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件及び地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について、受注者の責任において定めるものとする。

なお、見積参考資料の内容に関する事項は質問することが出来ない。

また、「見積参考資料」の有効期限は、本工事の入札（見積）日までとする。

国土交通省 中部地方整備局
高山国道事務所 管理第二課

見積参考資料（積算条件）

工事名	国道41号高山地区電線共同溝PFI事業 点検業務（巡回）（当初）		主たる工種	道路維持工事
間 接 費 名 称	積 算 条 件			
	補 正 項 目	条 件		
共通仮設費（率計上）	施工地域補正 除雪工事補正	市街地（D I D補正）（1）－1 補正無		
現場管理費	施工地域補正 施工時期補正 熱中症補正 緊急工事補正 砂防・地滑り補正	市街地（D I D補正）（1）－1 補正する 補正しない 補正しない 補正しない		
一般管理費等	財団法人等による補正 前払金割合による補正 契約保証に係る補正	補正しない 35%を超えるもの・補正しない 発注者が金銭的保証を必要とする場合		
その他	I C T施工補正 週休2日の補正	補正しない 4週8休以上		

見積参考資料

工事名	国道４１号高山地区電線共同溝ＰＦＩ事業 点検業務（巡回）（ 当 初 ）					工種区分	道路維持工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
道路維持		式		1					
維持管理工事		式		1					
巡回工		式		1					
通常巡回	目視点検：1回/月	回		228		< 1 回当たり> 通常巡回 目視点検：1回/月	回	1	
直接経費	ライトバン運転	回		228		< 1 回当たり> 日常点検経費等	回	1	
直接工事費		式		1					
共通仮設費		式		1					
共通仮設費（率計上）		式		1		施工地域補正=市街地（ＤＩＤ補正）（１）－１； 除雪工補正=補正無；ICT施工補正=しない；週休２ 日の補正=４週８休以上			
純工事費		式		1					
現場管理費		式		1		施工地域補正=市街地（ＤＩＤ補正）（１）－１； 積雪寒冷地域区分=４級地；緊急工事補正=しない； 砂防・地滑り工事補正=しない；ICT施工補正=しな い；週休２日の補正=４週８休以上			

見積参考資料

工事名		国道４１号高山地区電線共同溝ＰＦＩ事業 点検業務（巡回）（ 当 初 ）				工種区分	道路維持工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
							名称	単位	数量
工事原価			式		1				
一般管理費等			式		1				
工事価格			式		1				
消費税相当額			式		1				
工事費計			式		1	建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

見 積 参 考 資 料

工 事 名 国道41号高山地区電線共同溝PFI事業 補修業務

この「見積参考資料」は、入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積もりに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件及び地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について、受注者の責任において定めるものとする。

なお、見積参考資料の内容に関する事項は質問することが出来ない。

また、「見積参考資料」の有効期限は、本工事の入札（見積）日までとする。

国土交通省 中部地方整備局
高山国道事務所 管理第二課

見積参考資料（積算条件）

工事名	国道41号高山地区電線共同溝PFI事業 補修業務（当初）		主たる工種	道路維持工事
間 接 費 名 称	積 算 条 件			
	補 正 項 目	条 件		
共通仮設費（率計上）	施工地域補正 除雪工事補正	市街地（DIDD補正）（1）－1 補正無		
現場管理費	施工地域補正 施工時期補正 熱中症補正 緊急工事補正 砂防・地滑り補正	市街地（DIDD補正）（1）－1 補正する 補正しない 補正しない 補正しない		
一般管理費等	財団法人等による補正 前払金割合による補正 契約保証に係る補正	補正しない 35%を超えるもの・補正しない 発注者が金銭的保証を必要とする場合		
その他	ICT施工補正 週休2日の補正	補正しない 4週8休以上		

見積参考資料

工事名		国道４１号高山地区電線共同溝ＰＦＩ事業 補修業務 (当 初)					工種区分	道路維持工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
							名称	単位	数量	
道路維持			式		1					
維持管理工事			式		1					
補修・修繕工			式		1					
マンホール蓋取替		1基/年	基		19		< 1 基当り> マンホール蓋取替	基	1	
直接工事費			式		1					
共通仮設費			式		1					
共通仮設費 (率計上)			式		1		施工地域補正=市街地（ＤＩＤ補正）（１）－１； 除雪工補正=補正無；ICT施工補正=しない；週休２ 日の補正=４週８休以上			
純工事費			式		1					
現場管理費			式		1		施工地域補正=市街地（ＤＩＤ補正）（１）－１； 積雪寒冷地域区分=４級地；緊急工事補正=しない； 砂防・地滑り工事補正=しない；ICT施工補正=しな い；週休２日の補正=４週８休以上			
工事原価			式		1					

見積参考資料

工事名		国道４１号高山地区電線共同溝ＰＦＩ事業 補修業務					(当 初)		工種区分	道路維持工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素			規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
								名称		単位	数量	
一般管理費等				式		1						
工事価格				式		1						
消費税相当額				式		1						
工事費計				式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。				

国道41号高山地区電線共同溝PFI事業 詳細設計業務 歩掛表

作業内容	理事、技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	備考
道路設計							1km当たり
歩道詳細設計							1km当たり
歩道詳細設計							
設計計画		0.50	0.50				
現地踏査			0.80	0.80	1.70		
平面設計			0.50	0.50	0.50	1.00	
縦断設計				0.50	0.50		
横断設計				0.50	1.00	1.00	
小構造物設計				0.70	0.70	1.70	
用排水設計					0.50	0.50	
設計図				0.50	1.50	1.50	
数量計算				1.50	1.00	3.10	
照査		1.00	0.50	0.70	0.70		
報告書作成				1.00	0.50	1.00	
合計		1.50	2.30	6.70	8.60	9.80	

※直接経費：電子計算機使用料（直接人件費の2%）

【別紙2】

国道41号高山地区電線共同溝PFI事業 調整マネジメント業務(設計段階) 歩掛表

作業内容	理事、技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	備考
道路設計							1式
							2年間(24ヶ月)
調整マネジメント業務(設計段階)							1式
調整マネジメント業務(設計段階)		25.00	41.28	36.50	30.94	6.40	1式
打合せ等							1式
打合せ		3.00	3.00				1式
公開用成果品作成費				0.50	1.00	1.00	1式

【別紙3】

国道41号高山地区電線共同溝PFI事業 調整マネジメント業務(工事段階) 歩掛表

作業内容	理事、技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	備考
道路設計							1式
							9年間(108ヶ月)
調整マネジメント業務(工事段階)							1式
調整マネジメント業務(工事段階)		51.21	63.45	71.73	59.58	24.48	1式
打合せ等							1式
打合せ		13.50	13.50				1式
公開用成果品作成費				0.50	1.00	1.00	1式

国道41号高山地区電線共同溝PFI事業 工事監理業務 歩掛表

作業内容	理事、技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	備考
道路設計							1式
							9年間(108ヶ月)
工事マネジメント							1式
業務計画			1.40				1業務当たり
工事管理			3.20				8工事当たり
工事監督			24.84		885.60		108月当たり
打合せ等							1式
打合せ		13.50	13.50				1式
公開用成果品作成費				0.50	1.00	1.00	1式

【別紙5】

国道41号高山地区電線共同溝PFI事業 調整マネジメント業務(維持管理段階) 歩掛表

作業内容	理事、技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	備考
道路設計							1式
調整マネジメント業務(維持管理段階)							1式
調整マネジメント業務(維持管理段階)		13.16	26.04	29.40	30.32	8.60	1業務当たり
打合せ等							1式
打合せ		3.00	3.00				1式
公開用成果品作成費				0.50	1.00	1.00	1式

国道41号高山地区電線共同溝PFI事業 点検業務(定期点検) 歩掛表

作業内容	理事、技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	備考
道路施設点検							1式
							1回/5年(3回)
道路施設定期点検							1式
計画準備		6.00	6.00		6.00		3回当たり
定期点検				0.99		0.99	3回当たり
信頼性評価		0.30	0.30	0.30			3回当たり
定期点検記録の作成		0.30	0.60	0.60			3回当たり
報告書作成		3.00	4.50	4.50	6.00		3回当たり
打合せ等							1式
打合せ		4.50	4.50	4.50			3回当たり
その他							1式
公開用成果品作成				1.50	3.00	3.00	3回当たり

※定期点検:機械経費(直接人件費の12%)

国道41号高山地区電線共同溝PFI事業 点検業務(巡回) 歩掛表

【別紙7】

作業内容	理事、技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	備考
道路維持							1式
							19年間(228ヶ月)
維持管理工事							1式
巡回工							
通常巡回					70.68		228回当たり

※直接経費: 日常点検(ライトバン運転費2.5時間／回)

国道41号高山地区電線共同溝PFI事業 補修業務 歩掛表

【別紙8】

作業内容	一般土木 世話役	特殊作業員	普通作業員		交通誘導員 A	交通誘導員 B	備考
道路維持							1式
							19年間(228ヶ月)
維持管理工事							1式
補修・修繕工							
マンホール蓋取替			2.20		2.20		19基当たり

※マンホール蓋取替:諸雑費(まるめ)、材料費は未計上。

国道41号高山地区電線共同溝PFI事業
その他施設費(割賦手数料) 見積参考資料

工種	追加事項	備考
その他施設費 (割賦手数料)	I. 基準金利の料率は、国債金利20年ものを基準金利とし、 利ざや(スプレッド)0.5%を足したものを想定して計上している	